



青 於

6月号



市陸上記録会 (5/17)

市総合運動公園陸上競技場で、市陸上記録会が行われました。5月とは思えないほど肌寒い日でしたが、子どもたちは、自己ベストを目指してがんばりました。入賞者は以下のとおりです。

6年男子ジャバリックR-1位 田村豪琉さん、6年女子走幅跳2位 山口桂奈さん
 6年女子100m4位 山口桂奈さん、5年男子ジャバリックR-2位 大塚蓮司さん
 5年女子走幅跳4位 櫻井碧天さん、5年女子400mR5位 田村優衣さん
 櫻井碧天さん 堀澤凜々楓さん 海老原陽菜さん



郡市陸上記録会 (5/24)

市総合運動公園陸上競技場で、郡市陸上記録会が行われました。14名の5、6年生が参加しました。残念ながら、県大会出場を果たすことはできませんでした。

サツマイモ収穫 楽しみ
 真岡・大内西小 苗植え初体験

【真岡】大内西小の児童、約90人が22日、真岡北陵高校の敷地の畑でサツマイモの苗の植え付け体験などで汗を流した。

大内西小の総合学習などの一環、同高校が昨年から授業を活用し、市内小学校の児童や福祉作業所の通所者を対象にした農業体験を実施していることから、今回初めて開催された。体験には大内西小の全学年の児童が参加。同高校生物生産科の生徒らの指導を受けながら、イモが多く実りやすいとされる植え方「水平植え」に挑戦。上に深さ約10cmの穴を掘り、苗の向きが地面と水平になるように丁寧に植えていた。また、ポップコーン用のトウモロコシの種まきも行われた。

サツマイモなどは今後、生徒らが育成し、秋ごろに児童らが収穫体験を行う予定。大内西小6年上戸上君さん(11)は「植え方に種類があることを初めて知った。収穫してみなくて調理して食べたい」と目を輝かせた。

(伊藤 慧)

農業体験活動 (5/22)

真岡北陵高校の校長先生が、同じ地域にある大内西小学校と交流したいということを提案してくれて、今回の体験ができるようになりました。北陵高校の先生や生徒の皆さんに指導してもらい、さつまいもの苗やトウモロコシの種を蒔きました。さつまいもの植え方はいろいろあって、収穫量が多くなるといわれている「水平植え」を教えてくださいました。

ポップコーン用のトウモロコシは、一人2粒ずつ蒔きました。収穫までの管理を、北陵高校の先生や生徒の皆さんにお願いしました。子どもたちは、さつまいもやトウモロコシの収穫をととても楽しみにしています。



朝会の話(6/12)「あいさつ」

「あいさつ」の話をしようと思ったのには、2つの理由があります。1つは、うな源別館の交差点まで、週に1、2度登校指導に行っていますが、学校に戻る途中、遠くの方から「おはようございます」と声が聞こえました。最初どこから聞こえたのか分かりませんでしたが、よく見たら、通りの向こうにいる6年生と4年生が、校長先生にあいさつをしてくれたことが分かりました。もう一つは、校長先生が車の所に荷物を取りに行ったとき（校長先生は3年生に気付かなかった）に、グラウンドから昇降口に向かうたくさんの3年生からあいさつをもらいました。この2つの話の良かったところは、「相手が気付かなくてもあいさつができた」ということです。廊下ですれ違ったときにはだいたいできますが、遠いところにいる人や後ろを向いている人にはなかなかあいさつができないからです。

地域の方が校長先生に、「大内西小の子どもたちは、あいさつがしょうずですね」とほめてくれます。皆さんには、これからもっと上手にあいさつができるように、3つのことを話します。

- ①「相手が気付かなくてもあいさつができる」
- ②「こちらのこもったあいさつができる」
- ③「なんどでもあいさつができる」

ゴミゼロ運動(6/7)

ゴミ拾いをする前に、ゴミ拾いの目的を話しました。

①ゴミがたくさん落ちていると、心ない人がゴミを捨てて、ますます汚くなってしまいます。

②ゴミ拾いをした人は、ゴミ

拾いの大変さが分かるので、将来もゴミを捨てる人にならない。3方向に分かれてゴミ拾いをしました。子どもたちは、一生懸命にゴミ拾いをしてくれました。



児童集会(6/8)



「さすが大内西小の児童」と思うことができました。

①他のチームの応援もできたこと。②代表委員はもちろん、6年生がリーダーシップを発揮したこと。

プール開き(6/9)

5月の下旬に、全校児童でプールの中をブラシで磨いたり、プール回りの草むしりをしたりしてくれたおかげで、とてもきれいになりました。6月中旬から体育の授業で、プールに入ります。

